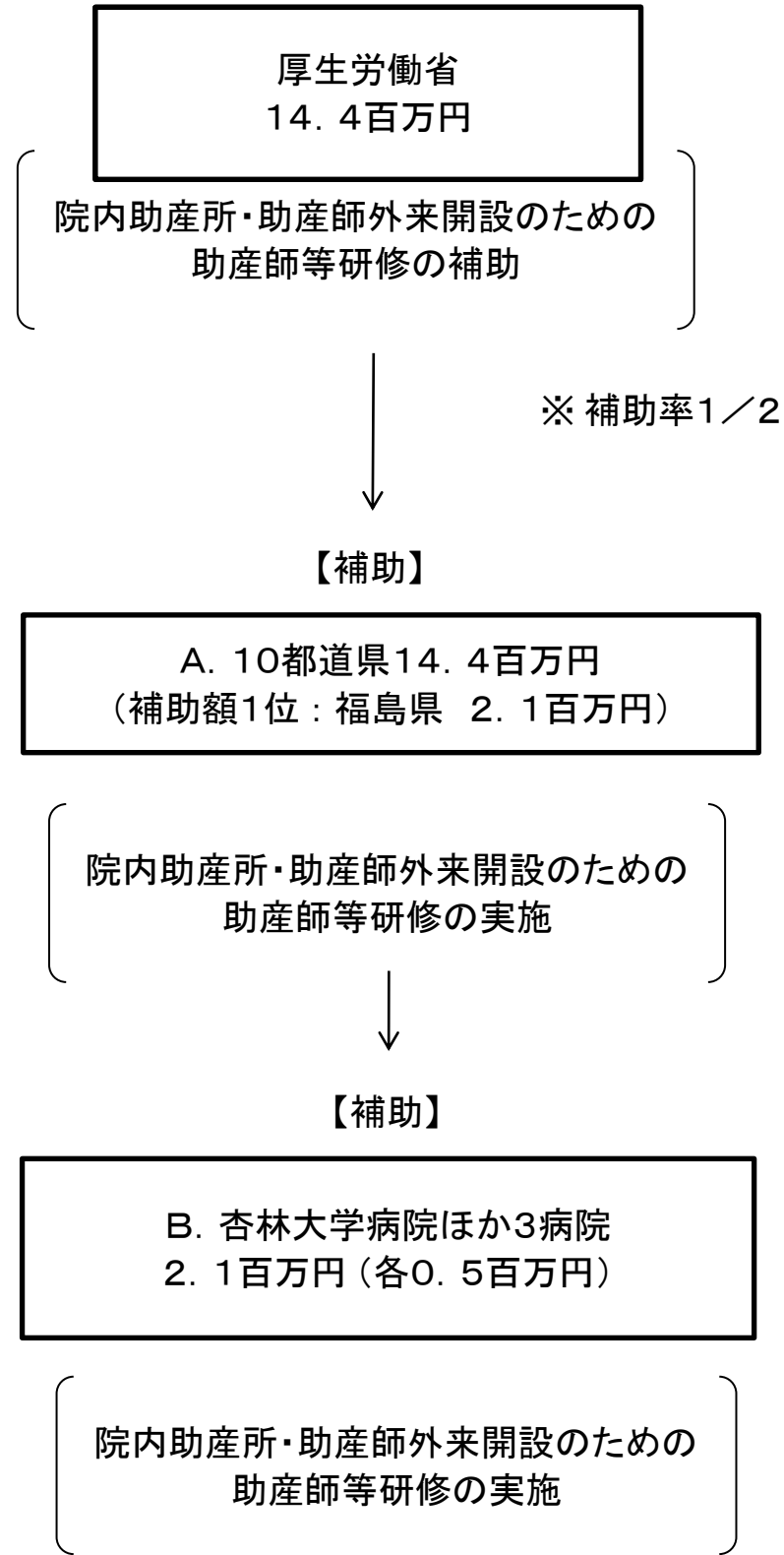


平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	助産師活用推進事業		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度～		担当課室	看護課		課長：岩澤和子	
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-1 地域の医療連携体制を構築する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成22年3月24日医政発0324第21号「看護職員確保対策事業等の実施について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	妊産婦等の多様なニーズに応え、地域において助産師の確保・活用を推進し、安全・安心・快適なお産の場の確保を図ることを目的とする。①助産師活用推進協議会②院内助産所・助産師外来助産師等研修事業③助産所管理者研修事業④潜在助産師復職研修事業を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医療機関や助産所、助産師学校養成所などが連携し、地域において助産師の確保や活用策等を協議する体制の構築を図り、地域における個々の実情に応じた施策が実行されるよう支援を行う。 実施主体：都道府県 補助率：国1/2、県1/2 1,801千円						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位：百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算		113	16	250億円の内数	220億円の内数
		繰越し等					
		計		113	16	250億円の内数	220億円の内数
	執行額			13	14		
	執行率(%)			11.5%	87.5%		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	助産師の確保・活用を推進し、安全・安心・快適なお産の場の確保が成果目標であり、これは定量的な実績として示せるものではない。		成果実績 達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	助産師活用推進協議会開催回数		活動実績 (当初見込み)	回	-	10 ( - )	事業の廃止 ( - )
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	院内助産所・助産師外来開設のための助産師等		活動実績 (当初見込み)	件	-	24 ( - )	11 ( - )
単位当たりコスト	1,310,272(円/県)		算出根拠	単位当たりコスト=X/Y X…補助金の執行額(23年度) Y…件数(23年度) 14,413千円/11県			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	補助金	250億円の内数	220億円の内数				
	計	250億円の内数	220億円の内数				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全なお産を確保するための当該事業は国民のニーズがある。</li> <li>助産師確保のための施策の実施に当たっては「看護師等の人材確保の促進に関する法律」において国が財政上の措置を行うこととなっている。</li> <li>必要に応じ把握に努める。</li> </ul>
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の実施に必要な最低限の経費しか計上していないため単位あたりコストの削減は困難。</li> <li>補助事業の実施に当たっては都道府県が自前で行うか、委託を行う場合でも規定に則り委託を行っているため適正に実施している。</li> <li>地域の実情に応じて医療機関等の補助(or委託)先を選定しており、合理的に支出されているものとする。</li> <li>必要最低限の経費のみの予算計上としている。</li> </ul>
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助事業が院内助産所・助産師外来の開設に最も効果的である。</li> <li>必要である各都道府県において事業を実施している。</li> </ul>
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	事業の見直しの結果、平成23年度より診療報酬でカバーできない院内助産所・助産師外来助産師等研修に特化した事業としている。引き続き執行状況を踏まえつつ必要な見直しを行ってまいりたい。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	助産師活用推進事業については、安心・安全・快適なお産の場の確保を図るための事業であり、本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	引き続き効率的な執行に努めていきたい。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>○事業仕分け第1弾:事業番号2-9「医師確保、救急・周産期対策の補助金等(一部モデル事業)」          評価結果: 予算要求の縮減(半額)          とりまとめコメント:「要求どおり」は、0名である。その背景としては、昨日議論した診療報酬の見直しと組み合わせた形で本補助金を有効なものにするというのが、本WGの思いだと思える。したがって、このWGの判断としては、「予算半額」を結論としたい。今後の診療報酬見直しの経緯を見ながら、真に必要なならば平成22年度補正予算での対応もありえると思える。平成22年度当初予算についても、真に必要な事項に絞ることとし、支給する方法、内容、支給先についても厚生労働省の政務三役としっかり相談してもらいたい。</p> <p>○事業仕分け第3弾:事業番号A-9「医師確保、救急・周産期対策の補助金等」          評価結果: 見直しを行う          とりまとめコメント: 診療報酬改定で対応可能な事業の廃止、医師不足対策への実効性が定かではない事業の廃止、不用額の確実な反映をさらにしっかりとやっていただきたいということが結論。医師確保、救急・周産期対策そのものについては大変重要であることは全員共通しているが、今の補助金の仕組みそのものが本当に効果的なやり方なのか、議論の中では包括的に支払うとか、必要なものについては補助率を高めるとかいろいろな議論があったので、減らす方向での対応をしっかりやっていただくとともに、より使い勝手がよく、より効果的なやり方を今日の議論を踏まえて検討していただくということを結果に付随して申し上げ、全体として結論としたい。</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	0844



資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.福島県			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	杏林大学病院ほか3病院へ委託 (院内助産所・助産師外来開設のための 助産師等研修の実施)	2.1			
計		2	計		0
B.杏林大学ほか3病院			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	研修にかかる経費(謝金、消耗品費、 印刷製本費等)	2.1			
計		2	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	福島県	院内助産所・助産師外来開設のための助産師等研修の実施	2.1		
2	北海道	院内助産所・助産師外来開設のための助産師等研修の実施	1.8		
3	千葉県	院内助産所・助産師外来開設のための助産師等研修の実施	1.8		
4	東京都	院内助産所・助産師外来開設のための助産師等研修の実施	1.8		
5	長野県	院内助産所・助産師外来開設のための助産師等研修の実施	1.8		
6	三重県	院内助産所・助産師外来開設のための助産師等研修の実施	1.8		
7	兵庫県	院内助産所・助産師外来開設のための助産師等研修の実施	1.8		
8	岩手県	院内助産所・助産師外来開設のための助産師等研修の実施	0.6		
9	高知県	院内助産所・助産師外来開設のための助産師等研修の実施	0.5		
10	福井県	院内助産所・助産師外来開設のための助産師等研修の実施	0.4		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	杏林大学病院	院内助産所・助産師外来開設のための助産師等研修の実施	0.5		
2	済生会宇都宮病院	院内助産所・助産師外来開設のための助産師等研修の実施	0.5		
3	矢島助産院	院内助産所・助産師外来開設のための助産師等研修の実施	0.5		
4	黄助産院	院内助産所・助産師外来開設のための助産師等研修の実施	0.5		